

平成21年9月4日
国土交通省北陸新幹線（長野・金沢間）工事実施計画（その2）の
認可申請に係る対応について

北陸新幹線工事実施計画（その2）の認可申請については、8月4日付けで地方自治体の意見聴取を行っていたところですが、1ヶ月を経過して未だ回答を頂いていない新潟県に対し、本日、別紙の文書により早期の回答を要請しましたのでお知らせします。

〈鉄道局文書のポイント〉

- ・ 北陸新幹線工事実施計画（その2）については、8月4日付けで北陸新幹線沿線各県に意見聴取を行ったところ。
- ・ これに対し、8月14日には新潟県を除く各県（長野県、富山県、石川県）から「異存なし」との回答あり。
- ・ 新潟県からは、意見聴取から1ヶ月を経過したが未だ回答を頂いていない。
- ・ さらに今般、JR東日本及びJR西日本から機構に対して、「9月末までに着手できない場合、完成期限までに確実に完成させることを保証できません」等の指摘あり。
- ・ こうした状況に対し国土交通省としては、目標年次どおりの開業をより確実にするため、また平成21年度補正予算の迅速な執行のため、可能な限り早期の認可を行いたいと考えているので、新潟県に対し早期の回答を要請。

連絡先

国土交通省鉄道局施設課
林TEL 5253-8111(代) 内線40832
5253-8553(直通)

新潟県知事 泉田裕彦様

北陸新幹線工事実施計画（その2）について

鉄道行政の推進について、平素よりご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

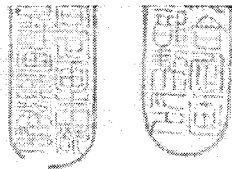
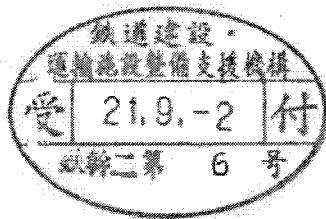
さて、北陸新幹線工事実施計画（その2）については、全国新幹線鉄道整備法第9条第4項に基づき本年8月4日付けで北陸新幹線沿線各県に意見聴取を行ったところであります。これに対し、8月14日には貴県を除く各県（長野県、富山県、石川県）から「異存なし」との回答を頂いておりますが、貴県におかれては、意見聴取から1ヶ月を経過しましたが未だ回答を頂いておりません。

さらに今般、営業主体であるJR東日本及びJR西日本から、建設主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に別添要望が提出されるに至り、「9月末までに着手できない場合、完成期限までに確実に完成させることを保証できません」等の指摘を受けるに至っております。

こうした状況に対し国土交通省としては、目標年次どおりの開業をより確実にするため、また平成21年度補正予算の迅速な執行のため、可能な限り早期の認可を行いたいと考えておりますので、何卒早期の回答をお願い致します。

平成21年9月4日

国土交通省 鉄道局長 本田 勝

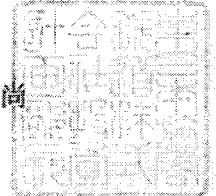


別 添

本 投 第 1 0 6 号
 総 企 第 1 6 9 号
 平 成 2 1 年 9 月 1 日

独立行政法人
 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
 新幹線部長 市橋 学殿

東日本旅客鉄道株式会社
 総合企画本部 投資計画部長
 西野 史尚



西日本旅客鉄道株式会社
 総合企画本部 部長（投資計画）
 杉岡 篤



指令設備整備の委託契約の早期締結その他について（要望）

日頃より、多方面にわたるご指導を賜り、誠にありがとうございます。

北陸新幹線金沢開業のために必要となる指令設備の整備については、平成21年7月10日付け JR 東日本・JR 西日本連名文書により委託契約の早期締結の必要性について要望させていただきました。

このたび工程短縮の可能性を詳細に検討し、システム開発工程以外の部分において訓練運転期間にリスクとして考慮している障害日数（雪害等天候不順による訓練不能日数）を切り詰めることを決断し、着手期限は9月末といたしました。9月末までに着手できない場合、完成期限までに確実に完成させることを保証できません。

また、融雪装置についても、完成期限までに確実に完成させるためには、遅滞なく着手いただく必要があると考えております。

以上のことから、指令設備の整備については工事実施計画（その2）の認可に基づき、委託契約を9月末までに締結くださるようお願い申し上げます。

なお、さらなる工程短縮・コストダウンの可否を精査するためにも、早急に基本設計を実施することが必要です。

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
指令設備の 金沢開業対 応工事	9月設計着手					
	基本設計	機能設計	詳細設計	製造 個別機能試験	総合試験 接続試験	
						走行試験 監査・検査 訓練運転